

ラグビーワールドカップ2019 (TM) 日本大会に向けて

商工観光部 観光振興課
教育委員会 スポーツ振興課

令和元年5月22日
市長定例記者会見
配布資料

トンガ代表支援 これまでの経緯



ラグビーワールドカップ
公認チームキャンプにエントリー(県市)



トンガ王国のホストタウン登録(県市)



トンガ王国へごみ収集車寄贈(市)



廃棄物の輸送効率に課題のあったトンガの状況を聞き、外務省の国際協カプログラムを活用し、本市の中古ごみ収集車1台を寄贈



受入準備委員会設置
(県市・ラグビーフットボール協会等)



横浜小学校において
「トンガ異文化・ラグビー体験教室」開催

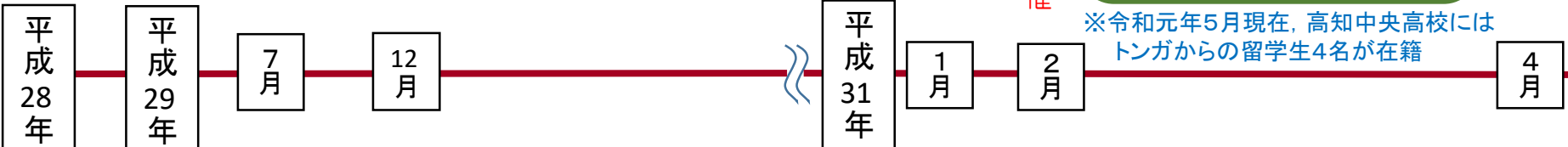


トンガ王国の文化やラグビーへの理解を深め、交流を行うことを目的に、「オリンピック・パラリンピック等経済界協議会」が主催し、高知中央高校の留学生等の協力を得て、2月7日に開催された



受入委員会設置
(県市・ラグビーフットボール協会等)

※令和元年5月現在、高知中央高校にはトンガからの留学生4名が在籍



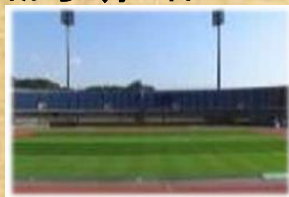
今後の予定

受入委員会の活動(予定)

- ・市民・県民のトンガ王国に対する理解、歓迎機運の醸成
- ・トンガ代表チームによるラグビー教室の開催、交流活動(事前キャンプ中も含む)

※7月27日～8月10日にかけて大阪、岩手、フィジーで開催される環太平洋諸国代表戦(ワールドラグビーパシフィック・ネーションズカップ)に合わせて、トンガ代表選手来高予定

➤ 9月9日から9月13日



事前キャンプ実施(高知県立春野運動公園)

9月22日(日)19:15
初戦(対イングランド)
札幌ドーム

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

教育委員会 スポーツ振興課
商工観光部 観光振興課

シンガポール共和国事前合宿誘致

- 受け入れ競技 水 泳
- 受け入れ施設 東部総合運動場 くろしおアリーナ(25m・50mプール)

経過

- 平成30年4月 県が事前合宿に向けた協力関係樹立を目的とした覚書を締結
※2競技(バドミントン、卓球)の事前合宿の会場が南国市立スポーツセンターと県立施設であることから、県と南国市がホストタウン登録
- 平成30年7月 シンガポール水泳連盟関係者が来高し、くろしおアリーナを視察



水泳種目を追加し、室内50mプールのある「くろしおアリーナ」で実施を希望

○平成30年11月 高知県・南国市が登録しているホストタウン交流計画に
高知市を追加し、ホストタウン登録申請

平成30年12月28日高知市をホストタウン登録

決定!

東京2020オリンピックに向けたチームシンガポールの事前合宿の受入
令和元年7月7日～16日 世界水泳選手権大会(韓国・光州)事前合宿

**2020年
オリンピック事前合宿の誘致へ**

合宿受け入れ状況(結果)

✓ 陸上リレーチームは、世界リレー2019横浜大会の事前合宿として実施

チェコ共和国	ソフトボールU19 (4/27-5/8)	20名	春野総合運動公園
	陸上リレーチーム (5/1-9)	22名	春野総合運動公園, りょうまスタジアム
ポーランド共和国	陸上リレーチーム (4/24-5/9)	33名	春野総合運動公園, りょうまスタジアム

よさこい鳴子踊り普及促進事業

東京2020オリ・パラに向けた取組

正調よさこいによるPR

➢ オリ・パラ競技大会開閉会式でのよさこい演舞を目指した取組等により、よさこい発祥の地としての認知度向上と国内外からの誘客を促進
2017～ 2019



○「2020よさこいで応援プロジェクト実行委員会」設立(2017.3)
→ 全国のよさこい団体と連携し、オリ・パラ組織委員会等への要望活動を展開
・全国のよさこい団体(37都道府県91団体)、よさこい祭振興会、県、市で構成 ※2019.5月時点

実現に向けた取組・機運の醸成

- よさこいで応援プロジェクト実行委員会
→ 全国よさこいフラッグリレー・イベント等によるPR
- 高知市役所踊り子隊による原宿スーパーよさこいでのPR
→ 正調によるよさこい発祥の地としての国内外へのPR

オリ・パラ組織委員会へ実績アプローチ

**オリ・パラ演舞
実現へ!**

高知赤十字病院移転開院の関連事業

高知市病院派遣型救急ワークステーション

令和元年6月上旬運用開始予定

消防局 救急課

- ◆ **目的** 救急隊員等の生涯教育体制の創出、また医療技術者と救急隊員等との相互理解を深める場として整備することで、プレホスピタルケア（病院前救護）の充実を図り、救命率の向上を目指すとともに、併せて災害医療における関係機関とのさらなる連携強化を図る。

★ワークステーション研修の特徴

- 救急車とともに3～4名の救急隊員を派遣。
 - 救急隊員全員が医師や看護師等から医学的知識や応急処置技術の指導を受けられる。
 - 現場→院内と継続して研修することで病態の経過を含めた総合的な研修ができる。
- ※実習中に出勤指令が発せられた場合は、病院から出勤。傷病者の生命が危険な状態であると判断した場合、医師等の同乗を要請する。

救急ワークステーション



★教育内容

- 救急外来での傷病者受入れ時の処置
- 傷病者の処置、看護及び接遇の理解
- 緊急検査の見学
- 救急活動症例の検討、又は事後検証等

想定効果

- ◆ 救急隊全体のスキルアップ
- ◆ 隊活動の円滑化・高度化
- ◆ 災害等での円滑な対応
- ◆ 救命率向上・後遺症軽減



救急隊派遣

派遣時間は原則平日の午前9時～午後5時(週1回)

北消防署



高知赤十字病院への支援(新病院整備に係る償還費補助)

健康福祉部 健康福祉総務課

事業目的

- ◆ 高知赤十字病院の長期浸水エリア外への移転改築に対して高知県と協調して支援を行うことで南海トラフ地震等の大規模災害が発生した際の**れんけいこうち広域都市圏の圏域全体への医療提供体制の確保を図る。**
- ◆ また、同病院が先進的な医療機能を保持することで、**平時においても高度かつ先進的な医療が圏域全体に提供される環境を整備**する。

新病院で拡充される主な機能

- **災害拠点病院としての機能強化**
⇒津波被害軽減、1週間の自立運営、ヘリポート新設
- **がん治療の機能強化・高度医療の強化**
⇒放射線機器高精度化、外来化学療法室、手術室の増強、移動型X線透視撮影装置、血管造影撮影装置等の整備
- **救急医療の充実**
⇒救急患者増加を予測し、SCU(脳卒中集中治療室)を新設
- **療養環境の改善**
⇒1床あたり床面積拡大、個室と4人部屋中心の病床配置

実施事業

高知赤十字病院が新病院建設に際して借入を行う費用の償還経費の一部について、高知県と協調して支援する。

支援

想定効果

- 災害時の医療提供体制確保
- 平時の救急・高度医療提供体制確保

効果